

## 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名  
 コード番号 3775 URL http://www.gaiax.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 野澤 直人 TEL 03-6869-0005  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,416	8.6	△20	-	△17	-	△42	-
26年12月期第3四半期	3,146	8.8	△19	-	25	-	10	-

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 174百万円 (-%) 26年12月期第3四半期 10百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△9.14	-
26年12月期第3四半期	2.16	2.15

(注) 平成27年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,249	1,780	54.3
26年12月期	2,786	1,593	57.0

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,763百万円 26年12月期 1,587百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	0.00	-	-	-
27年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	15.6	400	985.4	400	259.8	350	456.3	74.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	5,147,752株	26年12月期	5,147,752株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	474,642株	26年12月期	477,598株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	4,673,110株	26年12月期3Q	4,659,894株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府の経済政策および金融政策などの効果もあり、個人消費の回復や企業収益の改善等、全体として緩やかに回復傾向にあるものの、中国経済の減速やギリシャの債務問題などの懸念材料により全体の先行きについては不透明な状況が続いております。一方、当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォンやタブレット端末の利用者が若年層を中心に増加しており、ソーシャルネットワークやソーシャルゲームの利用もその広がりを見せており、今後も市場が堅調に拡大していくことが見込まれます。

このようなソーシャルメディアの普及を背景に、ソーシャルメディアをマーケティングやプロモーション、キャンペーン、リクルーティングに活用する動きが加速しており、企業におけるソーシャルメディアの利用価値がますます高まってきております。また、ソーシャルメディアの発達により可能になった遊休資産のモノ、お金、サービス等の交換・共有により成り立つ新しい経済概念「シェアリングエコノミー」が、欧米を中心に拡大してきております。この貸し借り成立に必要な信頼関係にソーシャルメディアは欠かせないものであり、この分野は当社事業とのシナジーが高く、シェアリングエコノミーを当社戦略の重要な位置づけとしていち早く注目してまいりました。9月には日本最大級の相乗りマッチング型ライドシェアサービス「notteco」を提供、その他当該分野における有力企業に投資を行うなど、新たな収益の柱となる新規事業の開発を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービスの売上が引き続き順調に伸長しております。受託開発事業においては、引き続き既存顧客からの大型受託開発案件の受注が継続しており、売上高は増加しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,416,744千円(前年同期比8.6%増)となりました。営業損益については、既存サービスの収益拡大と利益改善の効果があつたものの、引き続き新規サービスの開発投資を積極的に実施したため20,850千円(前年同期19,938千円の損失)の損失となりました。経常損益は、助成金収入があつたものの、関係会社株式の保有区分を変更し持分法の適用を除外したため、持分法投資損益の影響が無くなり17,616千円(前年同期25,986千円の利益)の損失となり、四半期純損益は、42,697千円(前年同期10,046千円の利益)の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (ソーシャルサービス事業)

## 《法人向けソーシャルメディア活性化サービス》

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される(マイクロ)ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

## 《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

## 《教育機関向けソーシャルリテラシーサービス》

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

## 《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

## 《法人向けソーシャルネットワークサービス》

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していく「エアリー」、日常業務の生産性を高める「Co-Work(コワーク)」などのクラウド型社内SNSを提供

## 《デジタルコンテンツサービス》

モバイル/スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第3四半期連結累計期間におきましては、《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》の顧客数が増加したことにより、売上高も引き続き伸長しております。営業損益については、外注コスト等を削減し、利益率の改善を図ってまいりました。

この結果、売上高については、1,905,106千円(前年同期比1.6%増)となり、営業損益については227,335千円(前年同期比98.3%増)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第3四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末から引き続き既存顧客の大型受託開発案件の受注が安定的に継続しており、売上高は増加しております。営業損益については、引き続き利益率を確保しつつ工数管理等のコストマネジメントを強化しており、営業利益が改善されております。その結果、売上高については1,523,323千円(前年同期比17.8%増)となり、営業損益は、50,884千円(前年同期は17,010千円の損失)の利益となりました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業におきましては当期首より新たに事業を開始し、当第3四半期連結累計期間においては株式等の売却による売上はありませんでしたが、社内のスタートアップ制度における新規事業が立ち上がってきておりその結果、売上高は1,270千円となりました。引き続き新規事業の投資が先行しているため、営業損益は152,307千円(前期はなし)の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて23.3%増加し、2,978,840千円となりました。これは、主に営業投資有価証券が610,155千円増加したこと、現金及び預金が110,806千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて27.2%減少し、270,449千円となりました。これは、主にソフトウェアが8,578千円、のれんが9,020千円増加したこと、及び投資有価証券が137,220千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて16.6%増加し、3,249,290千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、865,520千円となりました。これは、主に賞与引当金が49,364千円増加したこと、及び1年内償還予定の社債が23,000千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて81.1%増加し、603,468千円となりました。これは、主に長期借入金が184,768千円、繰延税金負債が122,705千円増加したこと、及び社債が38,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて23.1%増加し、1,468,988千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、1,780,302千円となりました。これは新株予約権が10,689千円、その他有価証券評価差額金が218,022千円増加したこと、及び利益剰余金が四半期純損失により42,697千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月18日公表時点においては、新規事業であるインキュベーション事業の業績予測が困難であったことから、既存事業の売上高について5%程度の増加を見込んでいる旨を公表し、利益数値については予想値を公表しておりませんでした。このたび、平成27年10月15日付「営業投資有価証券の売却による売却益等の計上に関するお知らせ」で開示しましたとおり、営業投資有価証券の売却に伴う売上高552百万円及び営業利益520百万円を計上し、現時点の情報に基づいた業績予想の合理的な算定が可能となったため、予想値を公表いたします。

なお、詳細は本日公表の「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社notteco及び当社の子会社であるGaiaX Global Marketing & Ventures Pte.Ltd.が新たに設立したXStartup Singapore Pte. Ltd.を連結子会社として連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ソーシャルグループウェアは株式会社シーエムエスエスに、社名を変更しております。

なお、第2四半期連結会計期間において、株式会社GaiaX Interactive Solutionsはアディッシュプラス株式会社に、株式会社シニアモードは株式会社XStartupに社名を変更しております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において持分法適用関連会社としておりましたAppBank株式会社については、第1四半期連結会計期間よりインキュベーション事業の開始に伴い、保有区分を当事業目的の有価証券に変更したため、持分法適用の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(営業投資有価証券について)

当社は第1四半期連結会計期間より、GaiaX Global Marketing & Ventures Pte.Ltd. (以下、GGMV)において、インキュベーション事業を開始しております。これに伴い、従来、四半期連結貸借対照表上、固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上しております。

また、当該有価証券に係る損益を、四半期連結損益計算書上「売上高」及び「売上原価」に計上する方法を採用しております。これに伴い、当連結会計年度の期首において、前連結会計年度末の「投資有価証券」のうち153,696千円を「営業投資有価証券」に組替えております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,749,330	1,638,523
受取手形及び売掛金	518,359	493,908
仕掛品	109,749	125,527
有価証券	10,021	70,038
営業投資有価証券	-	610,155
その他	34,325	47,906
貸倒引当金	△6,656	△7,219
流動資産合計	2,415,129	2,978,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,428	44,688
工具、器具及び備品(純額)	32,213	31,863
リース資産(純額)	4,859	3,948
有形固定資産合計	92,500	80,500
無形固定資産		
ソフトウェア	2,689	11,267
のれん	17,835	26,855
その他	145	145
無形固定資産合計	20,670	38,269
投資その他の資産		
投資有価証券	156,609	19,389
長期預金	20,570	34,340
敷金及び保証金	75,472	90,266
長期貸付金	5,735	6,443
その他	18,777	20,075
貸倒引当金	△18,875	△18,835
投資その他の資産合計	258,289	151,680
固定資産合計	371,461	270,449
資産合計	2,786,590	3,249,290

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,108	117,919
短期借入金	72,500	81,254
1年内返済予定の長期借入金	198,852	200,058
1年内償還予定の社債	31,000	8,000
未払費用	166,019	148,219
預り金	35,080	34,852
未払法人税等	11,749	20,019
賞与引当金	-	49,364
その他	211,387	205,831
流動負債合計	859,698	865,520
固定負債		
社債	38,000	-
長期借入金	254,930	439,698
その他	40,378	163,770
固定負債合計	333,308	603,468
負債合計	1,193,006	1,468,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,673,979	1,674,504
利益剰余金	△57,595	△100,292
自己株式	△138,825	△137,635
株主資本合計	1,577,557	1,536,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,050	225,072
為替換算調整勘定	2,768	1,743
その他の包括利益累計額合計	9,818	226,816
新株予約権	6,187	16,877
少数株主持分	20	32
純資産合計	1,593,584	1,780,302
負債純資産合計	2,786,590	3,249,290



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,146,290	3,416,744
売上原価	2,139,460	2,252,993
売上総利益	1,006,829	1,163,750
販売費及び一般管理費合計	1,026,767	1,184,600
営業損失(△)	△19,938	△20,850
営業外収益		
受取利息	830	505
助成金収入	8,512	7,757
為替差益	-	723
持分法による投資利益	38,530	-
保険解約返戻金	6,634	-
その他	2,056	3,126
営業外収益合計	56,563	12,112
営業外費用		
支払利息	5,402	5,375
支払保証料	468	1,005
為替差損	4,111	-
貸倒引当金繰入額	53	△2
その他	602	2,499
営業外費用合計	10,638	8,878
経常利益又は経常損失(△)	25,986	△17,616
特別利益		
新株予約権戻入益	463	169
投資有価証券売却益	-	2,062
特別利益合計	463	2,231
特別損失		
固定資産除却損	-	4,204
提携解消損失	5,200	-
自己新株予約権消却損	-	1,700
特別損失合計	5,200	5,904
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,250	△21,289
法人税、住民税及び事業税	11,215	21,394
法人税等合計	11,215	21,394
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	10,034	△42,683
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△12	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,046	△42,697

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	10,034	△42,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	218,022
為替換算調整勘定	226	△1,026
その他の包括利益合計	417	216,995
四半期包括利益	10,451	174,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,464	174,300
少数株主に係る四半期包括利益	△12	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社である GaiaX Global Marketing & Ventures Pte. Ltd. の出資先であるAppBank株式会社が、平成27年10月15日に東京証券取引所マザーズへ上場いたしました。

これに伴い、同社普通株式の売出しに売出人の一社として参加し、同社株式の一部(500,000株)を売却いたしました。

これにより、連結損益計算書上、売上高552百万円、売上原価32百万円が計上されることとなります。

また、売却後の保有株式数(868,000株)及び公開価格(1,200円)によった場合、連結貸借対照表上、営業投資有価証券が985百万円増加し、税効果の影響を加味しその他有価証券評価差額金630百万円、繰延税金負債355百万円がそれぞれ増加いたします。

なお、株価の変動により、連結財務諸表への影響額は変動いたします。